

岸本賢治 fretless guitar
FALCON guitar, effects
吉野弘志 contrabass

2022 11月12日 (土)

開場 19:30 night live

開演 20:00

(2ステージ入替無)(1drink=600)

MC=3800+2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



FALCON

エフェクトを活かした空間的な音作りによる独自の奏法が話題を呼び、ウェイウェイ・ウー(二胡)、中西俊博(vn)、カルメン・マキ(vo)、鬼怒無月(g)、金子飛鳥(vn)等と共演。ジャズから台湾原住民音楽まで取り入れたバンド Eri Liao Trio に参加。ダンス、朗読、写真との共演や舞台音楽など幅広い分野に取り組み、自然や風景を描写して作った楽曲が評価を得ている。2019年 2nd ソロアルバム”美しき様々の夢”発売。

HP <http://falconguitar.jimdo.com>

岸本賢治

1991年10月7日静岡県生まれ、AB型。子供のころよりギターを通してブルース、クラシック、ロック等幅広い音楽に親しむ。20歳のころ、ジム・ホールの音楽に感銘を受けジャズを志す。これまでに直居隆雄氏、井上智氏、橋爪亮督氏などに師事。またアラブ古典音楽を常味裕司氏に師事。ZUJA Recordsより石川広行氏(tp)との即興デュオアルバム、「Improvisations Vol.1&2」が好評発売中。日本ではめずらしいフレットレスギター奏者としても活動しており、アラブ古典音楽の要素を取り入れた自分なりの音楽を模索中。現在は自分で設計したオリジナルのダブルネックギターを用い、ジャンルに囚われない活動を続けている。

吉野弘志

1955年広島市生まれ。1975年に東京芸術大学音楽学部器楽科(コントラバス専攻)に入学。在学中より明田川荘之(piano)トリオのメンバーとしてジャズ・クラブに出演するようになる。1980年、坂田明(sax)トリオに参加、翌年には同グループでヨーロッパ・ツアーをおこなう。以後、富樫雅彦、加古隆、山下洋輔、板橋文夫、塩谷哲、などのグループに参加。現在は、ベース・ソロと『彼岸の此岸』{太田恵資(violin)、鬼怒無月(guitar)、吉見征樹(tabla)}、『吉野弘志モンゴロイダズ・ネオ』{小森慶子(clarinet, sax)、田中信正(piano)、和田啓(req)}を活動の中心に、自らの民族楽器としてとらえているウッドベースの可能性を追究すべく『張林(揚琴)とのデュオ』、ウード奏者・常味裕司の『アラブ音楽アンサンブル Farha』などに参加している。リーダー作品に「泣いたら湖 / 吉野弘志・モンゴロイダズ」{メンバーは林栄一(as)、加藤崇之(g)、小山彰(ds)}と、「ンゴロイダズ」{メンバーは林栄一(as)、加藤崇之(g)、小山彰(ds)}と、「ベース・ソロアルバム「on Bass」、吉野弘志 彼岸の此岸 / Feeling the Other Side」がある。